

GSまちづくりマイスター・2009年度GS功労賞のご紹介



■ 賞の趣旨

GSデザイン会議は、2005年の設立以降、全国各地の総合的なまちづくりや空間デザインの要請に応え、分野を超えた専門家間の協働体制を確立することを目的として活動を続けてまいりました。各分野の専門家、行政、市民の連携によるトータルデザインの実践の蓄積と共に、シンポジウム等の開催を通じて、全国各地で実現してきたまちづくりやデザインの実例を題材に議論を行う中で明らかになってきたことは、そういう優れた実例の背後には、現行の制度や予算、従来からの慣習など、様々な「現実の壁」を乗り越えるための努力と、献身的に孤軍奮闘してきた人々の姿が存在することです。

「GS功労賞」は、これからまちづくりやデザインにとって模範となるプロジェクトにおいて、様々な「現実の壁」を突破するために献身的な努力を払ってきた個人を顕彰し、敬意と感謝を示すものです。

GSデザイン会議では、今後、毎年数人の方々に本賞を贈る予定です。本賞が、プロジェクト推進の過程で、所謂「縁の下」を支えてきた方々の功績を称えることで、その重要な役割を社会に発信するとともに、将来総合的な空間づくりを担う人材の発掘とネットワークづくり、そして望ましいデザイン体制のモデルの提示へと繋がることを期待しています。

2009年4月

GSデザイン会議代表 篠原修
内藤廣

■ 受賞資格

- 1) 受賞候補者は、GSデザイン会議の活動趣旨に沿ったプロジェクトの実現に際し、極めて重要な役割を果たした、各種団体・行政に所属する（又は所属していた）方々、住民、施工関係者等、個人を対象とします。なお、受賞候補者については、GSデザイン会議個人会員（以下、GS個人会員）である必要はありません。
- 2) 受賞候補者は、GS個人会員1名以上の推薦を必要とします。

■ 受賞までの流れ

- 1) 募集 : GS個人会員による受賞候補者の推薦を行いました（平成21年4月17日～5月11日）
- 2) ヒアリング : 聴聞会*にて推薦者に対するヒアリングを行いました（平成21年6月11日）
(*GSデザイン会議代表の選考によって推薦者以外で組織されます)
→ 推薦者へ内定通知→ 推荐者から受賞内定者への意志確認→ 受賞の正式決定
- 3) 表彰式 : 定期総会終了後開催されました（平成21年6月25日）

■ 聴聞会の開催について

日時：平成21年6月11日（木）15:00～16:30

場所：東京大学工学部一号館セミナーB室

聴聞会メンバー：篠原修（GS代表／政策研究大学院大学）、内藤廣（GS代表／東京大学大学院）、

加藤源（日本都市総合研究所）、小出和郎（株式会社都市環境研究所）、田村幸久（大日本コンサルタント株式会社）

■ 事務局・問い合わせ先

GSデザイン会議事務局

〒113-0023 東京都文京区向丘1-1-2 IPP 東大前ビル3F

電話 | 03-5805-5578 FAX | 03-5805-5579

E-mail | info@groundscape.jp URL | <http://www.groundscape.jp>

■ 受賞者のご紹介

くまたばらしおいち

熊田原正一 氏（株式会社熊田原工務店 代表取締役）

対象プロジェクト：油津・堀川運河再生整備

推薦者：小野寺康 氏（小野寺康都市設計事務所）

くるぎしおいち

黒木正一 氏（宮崎県日向商工会議所 専務理事）

対象プロジェクト：日向市駅周辺まちづくり

推薦者：井上康志 氏（宮崎県油津港湾事務所）

ふじむらなおき

藤村直樹 氏（宮崎県宮崎土木事務所 所長）

対象プロジェクト：日向市塩見橋及び橋詰め広場、油津堀川運河整備事業、都城シンボルロード事業

推薦者：南雲勝志 氏（ナグモデザイン事務所）



(授賞式にて：左から藤村氏代理井上氏、黒木氏、熊田原氏、篠原、内藤)

聴聞会コメント：

熊田原氏については、一市民として、また施工者として、夢見橋の実現に際してキイストーンとしての役割を果たしたこと、かつ氏の活躍が、まちづくり全体のあらたな展開を呼び起こす重要な起点となったことが高く評価されました。

黒木氏については、連続立体交差事業を含む日向駅周辺のまちづくりにおいて、日向市の中核的存在として周囲をまとめあげるとともに県と密な関係を築きあげ、幾多の困難を打破してプロジェクトを成功裏に導いた長年の努力と力量が高く評価されました。

藤村氏については、宮崎県の現場の責任者として、プロジェクトの重要な局面において常に重要かつ決定的な判断を行い、ときには工事中断をも辞すことなく、プロジェクトを正しい軌道にのせてきた実行力と決断力が、高く評価されました。

■ 賞状文面*のご紹介

(*文面は各推薦者によって作成されました)

黒木正一 殿

あなたは、日向市駅周辺のまちづくりにおいて、いち早く「公民協働のまちづくり」を自ら実践し、市民の幸せを真剣に考え、幾多の困難を克服しながら、一貫して日向プロジェクトを支え続けてこられました。

そのまちづくりの技は、持ち前の粘り強さとまちづくりへの搖るがない信念ともあいまって、市民に使われ、愛され続ける都市デザインを誕生させました。よって、その功績を心から讃えるとともに長年の努力に対し深く敬意を表し、ここにGS功労賞を授与します。

熊田原正一 殿

あなたは油津堀川運河再生事業における屋根付き木橋「夢見橋」架橋において、五分の一試作模型で油津デザイン会議の度肝を抜くに始まり、実現困難だった曲げ木加工のための製造機を誰も頼んでいないのに自主開発し、設計検討及び施工段階においてもそこまでやるのかと目を白黒させる関係各者を常に励ましながら、公共デザインの水準を強力に押し上げるに多大な貢献を果たされました。

その献身的かつ熱意あふれる努力と暴走は、次第に周囲を驚きと感動のるつぼに導き、地元日南市民および宮崎県民に勇気と誇りを与え続け、心と形に残る素晴らしい成果に結実されました。よって、ここにその功績を讃えるとともに深く敬意を表し、GS功労賞を授与します。

藤村直樹 殿

あなたは宮崎県土木行政に於いて、日向連立事業及び塩見橋、油津堀川運河整備を始め、県民の安心と幸せ、そして地域の発展を最大の利益と考え、常に的確な判断をもって業務を遂行してこられました。そのために「工事一時中断もやむなし！」と決断されたことも数回、"ザ・ストップマン"の異名を持つに至りました。

その勇気と決断力、そして責任感は土木デザインにとってかけがえのない精神であります。その功績と長年の労を讃えるとともに心から敬意を表し、ここにGS功労賞を授与します。